

講義名称	特別支援教育と保育	担当教員名	五味 洋一
科目群	専門科目 (M) CA1・DI1・DI2		
科目区分等	保育の内容・方法に関する科目 (PM) 選択	単 位	2
対象学年次	2年・秋学期	ナンバリング	CMPM1127

授業のキーワード	障害の社会モデル、発達の支援、合理的配慮
授業の概要	教職課程コアカリキュラム「特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解」及び保育士養成課程「障害児保育」を扱う授業です。子どもたちの多様性への深い理解に基づいた支援を行えるよう学習をします。
期待される学習成果 (目標)	特別な支援を必要とする子どもの特徴を知り、保育における関わり方を主体的に考える力を習得します。 また障害等のある子どもを育てる家族に保育者としてどのように関わるかを考えられるようになります。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	特別支援教育と保育	「障害とは何か」を再考しながらインクルーシブ保育の意義を学びます。
2	特別な支援を必要とする子ども①	知的障害のある子どもの理解と支援について学びます。
3	特別な支援を必要とする子ども②	肢体不自由や重症心身障害の子ども、医療的ケアを要する子どもについて学びます。
4	特別な支援を必要とする子ども③	視覚障害、聴覚障害、言語障害のある子どもの理解と支援について学びます。
5	特別な支援を必要とする子ども④	自閉スペクトラム症のある子どもの理解と支援について学びます。
6	特別な支援を必要とする子ども⑤	注意欠如多動症、限局性学習症のある子どもの理解と支援について学びます。
7	特別な支援を必要とする子ども⑥	マジョリティとマイノリティという視点から多様な背景のある子どもの支援を考えます。
8	子どもなぜそのように行動するのか	子どもの行動の理由や背景を探るための基本的な視点を学びます。
9	子どもと学習	未学習と誤学習という視点から子どもの”困った行動”を考えます。
10	”困った行動”の理解と支援	事例を通じて子どもの”困った行動”への支援について学びます。
11	保育者としての家族支援	発達の気になる子どもの保護者に保育者としてどのように関わったらよいかを考えます。
12	乳幼児期から学童期への道筋①	障害への気づきから支援計画の作成、園内での連携のあり方について学びます。
13	乳幼児期から学童期への道筋②	子どもを取り巻くさまざまな専門機関の機能を知り、連携・協働の方策を学びます。
14	乳幼児期から学童期への道筋③	小学校における特別支援教育の仕組みを知り、より良い移行支援の方策を考えます。
15	特別支援教育と保育のこれから	事例を通じてこれまでの学びを総括します。

定期試験	定期試験は実施しません。
授業時間外学習	各回で指定の授業準備（教科書の該当セクションを読む・関連動画の視聴）をしてください。授業後は教科書を復習して確認テストに取り組みましょう。その他、授業内で適宜関連する書籍や映像資料を紹介します。
評価方法	1. 各回確認テスト 30% 2. 各回リアクションペーパー 20% *適宜次の授業回でフィードバックをします。
使用する教科書 (必ず購入してください)	『気になる子の本当の発達支援 [新版]』市川奈緒子 (著) 風鳴舎
参考文献	『自閉症スペクトラムの子のソーシャルスキルを育てる本 幼児・小学生編』ぶどう社 『保育者ができる気になる行動を示す幼児への支援』学苑社